

このまちのくらしを  
もっとやさしく、うつくしく

野坂建設株式会社

〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東3-6-9  
TEL:0120-947-570  
<http://www.nosakakensetsu.co.jp>

NOSAKA  
construction

CSR REPORT  
2019

このレポートは、エコアクション21環境経営レポート(平成30年度)の  
内容も含まれています。

野坂建設株式会社



## 野坂建設CSRレポート2019

## INDEX [目次]

- P01 目次・編集方針・会社概要
- P02 トップメッセージ
- P03 事業案内
- P07 ビジョン・CSR方針
- P09 KPI
- P11 ハイライト
- P13 やさしくつくしい住環境を創る
- P15 やさしくつくしい自然を守る
- P17 やさしくつくしい繋がりを深める
- P19 やさしくつくしい職場を創る
- P21 マテリアルバランス
- P22 沿革

EDITORIAL  
POLICY [編集方針]

## [ 報告対象組織 ]

野坂建設株式会社

## [ 報告対象期間 ]

2018年6月～2019年5月

(※一部対象期間外を含む)

## [ 発行日 ]

2019年9月1日

## [ 参考ガイドライン ]

環境報告ガイドライン 2018年版

エコアクション21ガイドライン2017年版

SDGコンパス

## [ お問合せ先 ]

野坂建設株式会社 / 担当: 渡邊

〒808-0144

福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号

TEL: 0120-947-570 (フリーダイヤル)

FAX: 093-701-5266

E-Mail: info@nosakakensetsu.co.jp

## COMPANY OUTLINE [会社概要]

[ 商 号 ] 野坂建設株式会社

[ 代 表 者 ] 野坂 輝和

[ 設 立 ] 1972年

[ 資 本 金 ] 4,000万円

[ 従 業 員 数 ] 14名

[ 所 在 地 ] 本社 / 福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号

水巻支店 / 福岡県遠賀郡水巻町杵2丁目1番13号

ゆめ環境 / 福岡県遠賀郡遠賀町大字尾崎1712-45

[ 許 認 可 ]

- ・建設業許可 福岡県知事(特-24)第25068号  
(土木・とび土工・建築工事業・舗装・水道施設工事業)
- ・産業廃棄物処分業(福岡県/第04020058381号)
- ・産業廃棄物処理施設設置(福岡県/第608号)
- ・産業廃棄物収集運搬業(福岡県/第04000058381号)
- ・一般廃棄物処理業(遠賀・中間地域広域行政組合/第4号)
- ・一般廃棄物処理施設設置(福岡県/第79号)
- ・肥料販売業務(福岡県/第2160号)
- ・特殊肥料生産業者(福岡県/4920号)

[ 加 盟 団 体 ]

- ・一般社団法人JBN・  
全国工務店協会北部九州工務ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 日本樹木リサイクル協会
- ・NPO法人 九州環境カウンセラー協会
- ・公益社団法人 福岡県産業資源循環協会
- ・一般社団法人 北九州市建設業協会
- ・福岡県土木組合連合会 北九州支部
- ・一般社団法人 倫理研究所 福岡県倫理法人会
- ・公益社団法人 若松法人会
- ・水巻町商工会



## すべての活動を持続可能な未来づくりに繋げる

野坂建設株式会社 / 代表取締役 野坂 輝和

この度、3冊目となります「CSRレポート2019」を発売することができました。2016年よりスタートした当社のCSR活動ですが、今年はCSR方針をリニューアルしました。それも、大きく3つの外部環境の変化を捉えたためです。

一つ目は廃棄物環境です。最近では、廃プラスチックによる海洋汚染が問題となり、様々な企業がプラスチックの使用見直しを行っています。また、日本の廃棄物はアジア各国に輸出されるフローもありましたが、輸入禁止を打ち出す国が増加しており、国内での廃棄物処理体制の強化が喫緊の課題になっています。また、地震や台風などの自然災害が毎年発生し、災害廃棄物の適正かつ円滑な処理も求められています。

二つ目は地域課題の存在です。日本では人口減少に加え少子高齢化も進んでお

り、当社の事業エリアの地域でも深刻化しています。例えば空き家や休耕地が増えていたり、地域の担い手不足の問題を肌で感じています。

三つ目はグローバルな持続可能性の向上に関する動きです。2015年には、国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)※P7参照」が採択され、現存する社会課題が明確となりました。課題解決に向けた動きが随所で見られ、当社本社のある北九州市がSDGs未来都市に選ばれるなど、身近な範囲で活動が推進されています。2016年には、環境・社会・ガバナンスに関する活動にて評価し、投資されるESG投資が加速化しました。日本全体が持続可能な社会に向けて舵を切ったと感じています。

このような外部環境に合わせてリニューアルしたCSR方針は、事業活動に伴い発生

する影響に対応していくCSRを環境・社会・ガバナンスの側面から分類し、当社事業において社会課題の解決を目指すCSVを明確にしました。また、それぞれの活動がSDGsに表現されているどのような社会課題とリンクしているかを紐付けし、微力かもしれませんが、日頃の活動が着実に持続可能な社会の実現に繋がることを確信しています。

今回、中期経営計画も改め、重点項目の一つにSDGsの達成に向けた経営を掲げました。地域社会と共に存在することが重要な当社だからこそ、より社会課題を意識して貢献できる経営戦略を実行していくことも重要であると捉えました。また、実現していくためには組織力の向上も必要不可欠であり、特に社員の成長に力を入れていきます。CSR活動は組織と社会の持続可能な未来づくりに繋がります。より経営と一体となったCSR活動に取り組んでいきます。

## あたたかいくらしの礎にこだわる

毎日の生活を支える住まい。その住まいを構成する素材や空間づくりなどひとつひとつにこだわり、ライフスタイルの実現をサポートします。



### 新築・注文住宅

省エネで災害に強く長持ちする家で安心して快適に過ごしていただけるよう、様々な仕様をラインナップしております。お客様により添いながら、夢が実現する空間を提案します。

#### 省エネの家

壁や窓の断熱と太陽や風など自然の力で家を快適にしていきます。

#### 災害に強い家

地震、火災などの災害に強い仕様で安心して暮らせる家にしていきます。

#### 長持ちする家

結露や防虫対策と自然素材にこだわり、家にも人にも環境にもやさしい家を実現します。

#### スーパーウォール

構造用合板と断熱材を一体化させた「スーパーウォール」を使用することで、建物の気密性・断熱性が向上し、省エネ効果が期待できます。



#### 制震装置

わずか1mmの揺れから働く木造住宅用制震装置です。自動車用ショックアブソーバーの技術を住宅に活かすことで、快適な住み心地が実現できます。製造：ビルシュタイン社



#### 天然素材の壁

化学物質を多く使うクロスは使わず、風化した珊瑚を使用した「琉球漆喰」で仕上げます。臭いや湿気の吸着除去効果やマイナスイオンの発生効果が注目される天然の壁材です。



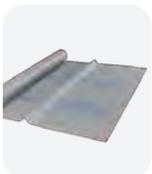
#### 天然砕石パイル杭 HySPEED工法

地盤に孔を掘り、その孔に天然砕石を詰め込み石柱を形成する人・環境に優しい地盤改良工法です。



#### 防蟻防湿シート

基礎コンクリートの下部に防蟻防湿シートを全面に敷き詰めることで、地上へ上がってくるシロアリをシャットアウトします。

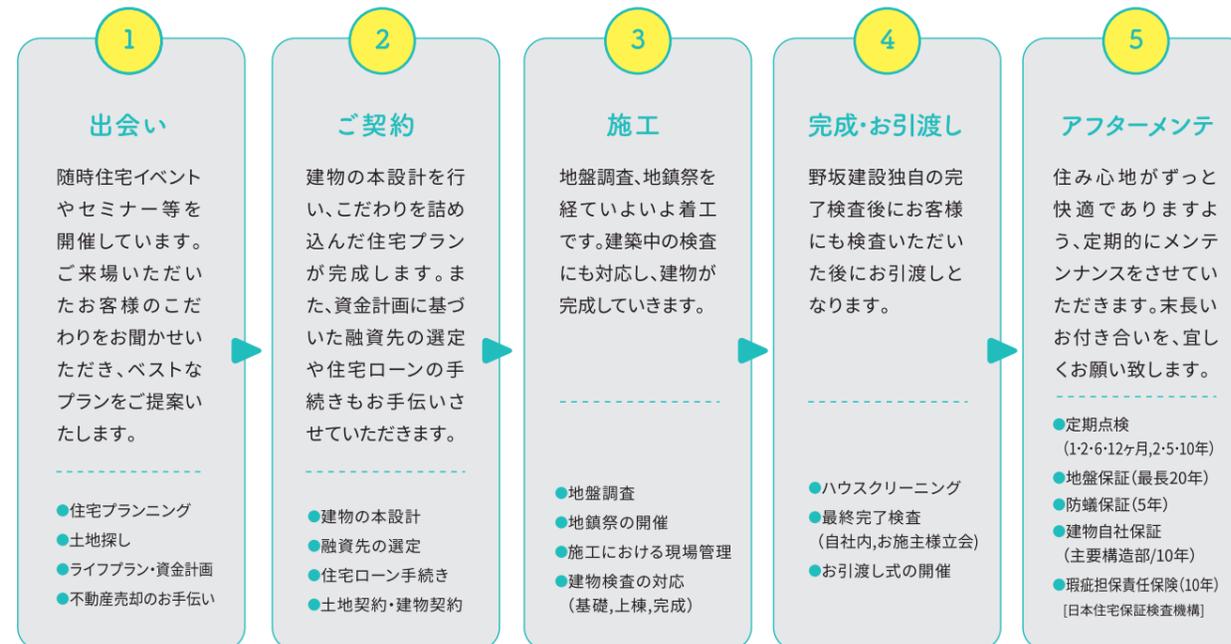


#### 無垢材フローリング

足の裏に心地よく、少々の傷も味わいになっていく天然木の無垢材のフローリング。木種により様々な表情が楽しめます。



## 注文住宅完成までの流れ



### リフォーム・リノベーション

住まいは暮らし続けるとライフスタイルの変化で使い勝手が変わるくったり傷みや不具合が生じてくるものです。例えば省エネ設備への更新やバリアフリー化、ペットの住みやすい建材への更新など、私たちはちょっとした住まいに関するご相談も承っております。

#### ■ リフォーム・リノベーション 施工箇所事例

トイレ	キッチン	お風呂	駐車場
耐震	間取り変更	洗面所	外構
デッキ	バリアフリー	外壁塗装	断熱

#### ■ デッキリノベーション事例



#### 住宅事業に関わる有資格

- 建築士(2級)
- 排水設備責任技術者
- 木住協・リフォーム診断員
- 木造ハウジングコーディネーター
- 建築施工管理技士(1級)
- 測量士補
- 既存住宅状況調査技術者
- 土木施工管理技士(1級)
- 福岡県被災宅地危険度判定士
- 増改築相談員
- 防蟻防腐施工認定施工者
- 福岡県被災建築物危険度判定士
- 損害保険募集人一般試験基礎単位



環境事業

## 新たな製品に生まれ変わる

暮らしのなかで必ず発生する廃棄物。  
私たちはその廃棄物をリサイクルし、地域の暮らしを支える製品づくりをしています。

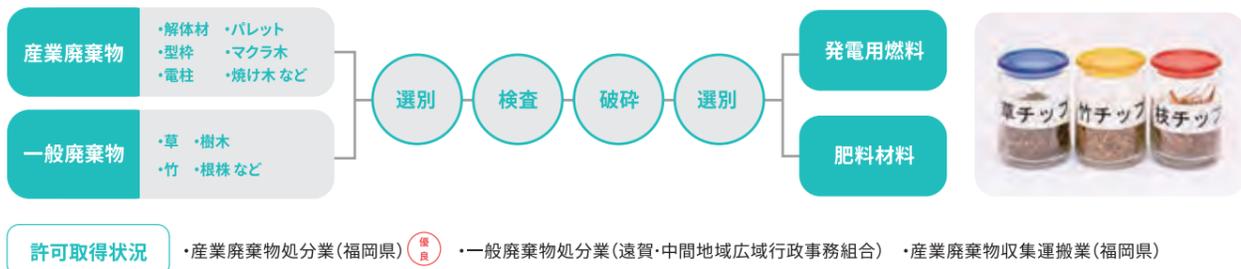


### 廃棄物処理サービス

道路や河川保全で発生した草木や建物解体等で発生した木材等の収集運搬およびリサイクル処理を行っております。当社にて資源として活用できるように選別・破碎を行い、バイオマス発電用の燃料もしくは堆肥の原料に生まれ変わります。リサイクル率は100%です。

### 樹木伐採・解体サービス

庭や道路脇、河川沿いなどの樹木伐採や、建物等の解体・撤去も行っております。伐採した樹木等は当社施設でリサイクル処理し、その他のモノは協力会社で適正に処分を行い、皆様の次なる暮らしを創造します。



地域事業

## やさしい地域を創造するために

野坂建設も地域市民の一人です。  
遠賀川流域のこの地域ならではのやさしさのあふれるまちづくりを目指しています。



### 農産物栽培・販売

オリジナルブランドの「Kingにんにく」を栽培しています。このにんにくは一般的なニンニクの約5倍もの大きさで、水分が多くジューシーな味わいと、匂いが少ないことが特徴です。

地元と連携し約2500坪の畑で栽培しており、有機の基準に基づいて生産した農産物及び農産加工食品の証であるJASオーガニック認証を取得しています。また、畑の一部では、土壌改良材による生産実証試験地として、産学民共同研究も行っております。Kingにんにくを使った加工品「Kingにんにく・くる」も製造しており、水巻町にある「夢工房」にてお買い求めいただけます。

※研究名「微生物を用いた土壌改良材による高付加価値でかんにんにくの生産実証試験」(統括責任研究者:東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授 江口文蘭) ※収穫時期に合わせ、7月～10月に販売しております。 ※栽培・販売は、グループ会社の有限会社ゆめ環境にて実施



### 堆肥化事業

当社にて処理を行っている一般廃棄物を活用し、土壌改良材「ゆめ育土」を生産しております。遠賀川河川敷の除草作業や造園業の樹木伐採工から排出された草や樹木を使用し、化学薬品を使わず地球に優しい、安心安全の100%リサイクル商品です。

また、地域インフラの維持管理に関わるような土木・造成工事も行っており、地域の基盤づくりも行っております。



## 地域の輝きをつなぐプラットフォーマー

自然との調和が保たれている住宅で暮らし、生活で出る廃棄物は地域でリサイクルされ、農業やエネルギーなど様々な形で地域に還元される。

野坂建設は、このような「やさしくつくしいくらし」がある地域を目指しています。

そのためには、組織の持続可能性を高め、様々な社会課題の解決が必要です。

事業活動やCSR活動を通じて社会課題の解決に貢献し、地域の輝きを創造できるよう活動を推進しています。



## CSRとCSVでサステイナブルな社会へ

当社事業における重要度とステークホルダーからの期待を踏まえて、

事業に伴う影響にESGの観点から対応していくCSRと、

事業を通じて社会課題の解決を目指すCSVの2つで重点項目を設定しています。

また、重点項目とSDGsとの関連付けも行い、

持続可能な社会の実現を目指していきます。



### 「SDGs」とは

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの持続可能開発目標のこと。途上国だけでなく先進国も含めたすべての国が取り組むべき目標であり、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。



## 総評

本年度は、①社内外教育にて重点管理項目達成に必要な情報収集、②PDCAサイクルを廻すことによる計画の具体的行動の細分化と達成基準・期限の設定、③各部門にリーダーを配置することでの行動計画の進捗管理、④定期面談の開催と評価者訓練を行うことで評価システムの構築と運用を行ってきました。平成28年に策定した中期経営計画から3年が経ち、目指していた商品力、組織力、収益力を達成することができています。これからは持続的に次の目標に向かい企業が発展していくよう努力していくことが大切です。個々の力を集結して更なる発展を目指すことで、お客様満足だけでなく、私たちがやりがいをもって働ける職場環境を創っていきましょう。

## 【評価・見直し】

期間中にKPIが曖昧だった箇所や成果に関連しない項目の是正を行うことができました。PDCAサイクルも各部門リーダーを中心に年間を通じて検証から新たなアクションプランを立案できる企業風土は出来上がりつつあります。まずは、当たり前のことを当たり前にこなすことで、社会問題解決となる新たな野坂建設の付加価値を創造していくことができます。個々が少しずつ変革し現状に甘えることなく、外部環境の変化に臨機応変に対応できる組織力を向上させていきたいです。

## 【課題・目標】

- ① 持続できる収益力を身につける
- ② 地域から必要とされる企業と人材創り
- ③ やりがいのある職場環境整備
- ④ SDGs経営の推進

重点項目	分類	KPI	関連するSDGs・GOAL	関連するSDGs・ターゲット	対象範囲	EA21 ※1	取組内容※2	平成30年度目標	平成30年度結果	評価※3	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
<p>やさしくつくしい 住環境を創る</p>	CSV	夢・空・間住宅 年間建築棟数	3 7 11 13	3.9,7.b,11.3,13.1	住宅事業部	○	① モデルハウス建築 ② 定期イベントによる集客仕組化 ③ 住宅仕様の追求 ④ HP等メディアでの情報発信	4棟	3棟	△	6棟	7棟	8棟
		リフォーム・リノベーション 施工件数	3 7 11 13	3.9,7.b,11.3,13.1	住宅事業部	○	① 自然素材リフォームの提案 ② 定期イベントによる集客仕組化 ③ 大型リフォームの商品化	受注160件	受注73件	△	平成30年度 実績維持	平成30年度 実績維持	平成30年度 実績維持
		刈草・伐採枝・解体木くず の廃棄物処理受入件数	7 11 12	7.2,11.6,12.5,12.8	環境事業部	○	① 敷地内より国道に向けての自立看板の設置 ② 自社車両の側部に広告設置 ③ チラシ配布により集客活動実施 ④ 既存顧客や新規見込み顧客への訪問営業実施	-	-	-	11,304件	11,600件	11,900件
<p>やさしくつくしい 自然を守る</p>	E 環境	売上当り電気使用量	7 12	7.3,12.2	事務所 現場	◎	① 未使用時の電気消灯の徹底 ② 設備電気不要時の負荷遮断 ③ 節電シール等の表示 ④ 設備のアドリリング ⑤ 残業時間の削減検討 ⑥ 昼休みの消灯 ⑦ LED照明の導入	平成29年度実績の 1%削減	22%削減	◎	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
		売上当り燃料使用量 (ガソリン・軽油)	12	12.2	【ガソリン】 事務所 【軽油】 破砕施設現場	◎	① アドリリングストップの徹底 ② 「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示 ③ 重機の定期検査 ④ 破砕作業の効率化の実施 ⑤ 破砕機稼働後の清掃	平成29年度実績の 1%削減	36%削減	◎	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
		一般廃棄物排出量	11	11.6	事務所	◎	① 廃棄物の分別徹底 ② リユース・リサイクル推進活動の展開 ③ 排出量の秤量管理 ④ 5S活動の実施	平成25年度実績の 維持	30%削減	◎	社員一人当たり 排出量 前年比1%削減	社員一人当たり 排出量 前年比1%削減	社員一人当たり 排出量 前年比1%削減
		産業廃棄物 再資源化率	12	12.4,12.5	現場	◎	① 廃棄物管理を強化し排出実績を分析 ② 分別方法の見直し ③ リサイクル委託先の見直し	見直し実施	実施完了	○	基準値設定	前年比3%向上	前年比3%向上
		水資源の確保	12	12.2	事務所	◎	① 洗浄作業の見直し検討 ② 節水コマの取付 ③ 節水シールの表示 ④ 中間処理施設の計画的散水 ⑤ 調達と利用状況の見直し	平成29年度実績の 1%削減	38%増加	△	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
		グリーン購入の推進	12	12.7,12.8	事務所	◎	① 5S活動による備品の在庫管理徹底 ② 購入予定時の調査検討	33品目	33品目	○	36品目	40品目	42品目
		環境配慮型製品の採用	12	12.7,12.8	事務所	○	① 環境配慮型ノベルティの製作 ② 環境配慮型製品の導入	導入実施	導入実施	○	導入実施	導入実施	導入実施
<p>やさしくつくしい 繋がりを深める</p>	S 社会	地域ボランティア活動参加回数	17	17.17	全体	◎	① 自社周辺道路の清掃活動実施 ② 地域開催活動・イベント等への参加	4回	4回	○	4回	4回	4回
		地域との協働件数	12 17	12.7,12.8,17.16,17.17	全体	○	① 地域イベントへの協賛や参加 ② 地域開催のセミナー等での登壇	2件	2件	○	2件	2件	2件
		ステークホルダー向け イベント実施	12 17	12.7,12.8,17.16,17.17	全体	○	① ステークホルダー感謝祭の開催 ② Kingにんにく収穫祭の開催	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
		次世代の教育	4 12 17	4.7,12.3,12.8,17.17	全体	○	① 小学校での環境教育実施	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
<p>やさしくつくしい 職場を創る</p>	G ガバナンス	職場体験受入/H30年度より/ キャリア形成	4 8 17	4.4,8.6,17.17	環境事業部	○	① リサイクル部門における中学生職場体験受入 ② 中学校においての出張職業講話講師	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
		人財開発	4 8 10	4.4,8.5,10.2	全体	○	① 社内外教育への参加奨励 ② 資格取得支援の実施 ③ 評価制度の導入 ④ 採用活動の実施	プログラム全体の 運用開始	運用開始	○	採用1名	採用1名	採用1名
		働き方改革	5 8 10	5.1,8.1,8.5,10.2,10.4	全体	-	① 取得実績の個別管理表作成 ② 取得日数の少ない社員へ奨励 ③ 業務効率化に向けたシステム導入	-	-	-	65日	70日	75日
安全な施工体制	3	3.6	全体	○	① 日常的なKY活動・ヒヤリハット活動の徹底 ② 安全パトロールの実施 ③ 現場における5S活動実施 ④ 災害防止対策の立案と防災訓練等の実施 ⑤ 安全大会の開催	0件	0件	○	0件	0件	0件		



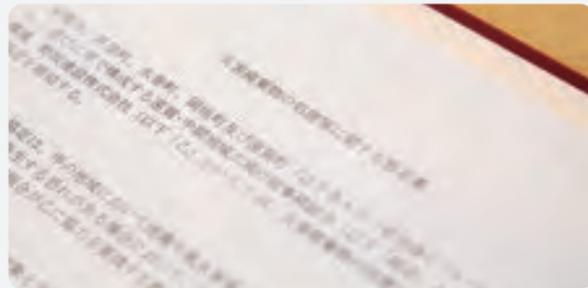
※1:事業活動における直接的環境影響:◎,間接的環境影響:○ ※2:赤字は平成30年度結果を踏まえて改善・強化した取組内容  
※3:[評価内容] ◎:目標達成(120%以上) ○:目標達成(100%以上) △:取組実施・目標未達 ×:取組未実施

## 災害廃棄物の処理等に関する協定を締結しました！

2019年3月25日に、当社ゆめ環境の周辺地域の廃棄物処理を管理している、遠賀・中間地域広域行政事務組合と組合を構成する自治体(中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町)と、「災害廃棄物の処理等に関する協定」を民間事業者として初めて締結しました。

この協定は、環境省の「災害廃棄物対策指針」や「福岡県災害廃棄物処理計画」を踏まえて策定された「中間市・遠賀郡災害廃棄物処理計画」を遂行するために、6つの団体と当社にて締結されたものです。地域で地震や風水害等の災害で発生した廃棄物を円滑に処理できるよう日頃の情報共有を行い、有事の際には廃棄物撤去から運搬・処分に関して協力します。

当社の環境事業が地域の安全・安心に貢献できるよう、気持ちを引き締めて精進して参ります。



### 中間市・遠賀郡災害廃棄物処理計画 概要

#### 概要

災害発生から概ね1年以内で災害廃棄物の処理を終了することを目標とし、極力再資源化に努め、中間処理による減量化を推進し、最終処分量の削減に努めることとする。

#### 計画内容

【 時期区分 】	【 対応内容 】
① 平時からの準備	・発生時速やかに実施体制を構築できるよう想定 ・他自治体、民間事業者・他団体との連絡・協力体制を構築
② 初動期(発災直後～3日間程度)	・体制整備、災害廃棄物の発生状況確認、必要機材の確保等実施 ・一次仮置場の設置及び管理体制、収集運搬計画を確立
③ 応急対応期[前半](発災4日目～2週間程度)	・災害廃棄物発生量を推計し、災害廃棄物の処理に着手 ・腐敗性廃棄物から優先的に処理実施
④ 応急対応期[後半](発災3週目～2か月程度)	・災害廃棄物の処理を本格的に開始
⑤ 復旧・復興期(発災3か月目～災害対応終了)	・災害廃棄物処理体制を継続し、発災1年以内を目標に収束を図る ・災害廃棄物発生量の推計見直し、仮置場を縮小・閉鎖・現状復旧し、平時の処理機能を取り戻す

### 災害廃棄物の処理等に関する協定書 概要

#### 概要

地域において地震や風水害等の災害が発生または発生する恐れがある場合において、災害廃棄物の撤去、収集・運搬及び処分に関し、組合が当社に協力を要請する。

#### 協力要請内容

- ① 災害廃棄物の撤去
- ② 災害廃棄物の収集・運搬
- ③ 災害廃棄物の処分
- ④ その他①～③に伴う必要な事業

#### 状況報告

この協定に基づく廃棄物の処理等が円滑に行われるよう、破碎機、収集運搬車輛等の状況を毎年報告するものとする。

## 第47期 経営方針発表会を開催しました

2019年6月15日に「第47期 経営方針発表会」を開催しました。今回は、当社に欠かせない一部のアライアンスパートナーをお招きし、前期の報告と中期経営計画や今期の計画を共有させていただきました。また、部門目標は各部署のリーダーより発表し、想いと決意が込められた計画を全社で理解しました。

アライアンスパートナーからの総評もいただき、より一丸となって新たなスタートを切ることができました。



### リーダーの声

#### 未来デザイン室

経営企画の職務も担う未来デザイン室は、より経営計画を理解し、日々のマネジメントを的確に実行できるよう、特に人材育成に力を入れていきます。時代の流れを読み、当社に必要な情報を都度社内教育していくことで、組織力の向上を目指していきます。当社CSRの担当もしており、より社会から必要とされる組織になれるよう、CSR活動推進も積極的にいきます。



渡邊 美穂子

#### 建設事業部

お客様に寄り添い、暮らしが豊かになる住宅づくりに貢献していくために、改めて当社の住宅仕様を見直し商品開発を行います。また、その情報をわかりやすく伝えることができるよう、WebサイトやSNSを活用して情報発信していく計画です。お客様の笑顔ある明日を創造していけるよう精進して参ります。



田浦 一成

#### 環境事業部

廃棄物のリサイクル処理業務を中心とした環境事業部は、より会社の柱となる事業部へ発展するために、営業活動の強化と業務効率の向上を図っていきます。また、安全管理にもよりいっそう力をいれて運営基盤も整備していきます。地域社会や会社から必要とされ、家族に誇れる自分になることをスローガンに邁進していきます。



廣戸 大樹

#### 総務部

総務部は多岐にわたる事務処理業務を一手に担っており、所属員は全員女性です。働く女性の職場環境改善をテーマに、業務のマニュアル化やIT活用を推進し、ムリ・ムダ・ムラを削減し、業務の平準化と効率化を進めていきます。この活動は同時に働き方改革にも繋がっていきます。まずは総務部で率先して実行し、社内全体に展開していけるよう、一丸となって励んで参ります。



鈴木 由貴

### 福岡銀行 折尾支店 支店長 / 高木 富士男 様

#### 参加者の声

企業価値の向上、地域経済の持続的成長と地方創生に貢献する金融業の実現を求められる我々にとって、お客様を「知る」ことには大きな意味を持ちます。貴社の経営理念やブランドコンセプト、また付加価値の創造を社長と社員の皆様が一体となって取り組まれている姿勢に大変感銘し、SDGsを経営計画や戦略に組

み込んで取り組まれていることに驚きました。その積極性や行動力が求心力となり、地域や人を巻き込んで17の目標を達成していくことこそが、SDGsの本質である「一人ひとりが未来を創り繋げていく」ということであり、これからの私たちの在り方と考えます。貴社の今後益々のご発展を祈念致しております。

## 1 「夢・空・間」の家づくり



家族の笑顔あふれる未来が詰まった夢の家を、空と大地、太陽や風などの自然の力を活用した素材や仕様で作り、効率のよい時間や空間づくりで人と人との間合いを豊かなものにする。そんな家づくりをご提案しています。

### コンセプト



## 夢空間



### 安心して暮らすための3つの性能

**Point.1** ①省エネ ②災害に強い ③長持ちする  
という3つの観点から家づくりを考えます。

### ずっとサポート

**Point.2** はじめからその後も、ずっと同じ担当者が寄り添います。



敷地に余裕はないけど庭はほしい。大空を独り占めしたような至上のプライベート空間。青空の下で家族や友人とバーベキューしたり、満天の星空を眺めたりなど...『夢空の家』は屋上テラスのあるパワースポットハウスです。

当社の家づくりへの想いや、施工事例などはWebサイトやSNSをご覧ください。

Webサイト ▶



Facebook ▶



instagram ▶



## 2 BCPを策定



当社が拠点を構える福岡県では、近年、豪雨や台風被害などの大規模災害が発生しています。また、施設内での火災が起きる可能性もあり、被災を最小限にとどめ、事業の早期復旧と社員の安全・雇用の確保を行うために、「災害時事業継続計画(BCP)」を策定しました。

この計画では、想定される災害について、当社周辺地域の過去の災害状況や発生した場合の想定被害の状況を分析し、中核事業に対す

る影響度と目標復旧時間を設定しました。また、各業務における経営資源を確保するために、当社が受ける被害の想定とリスクを評価し、事業継続のための対応策と運用フローを整備しています。

いつ当社が被害を受けるかはわかりません。万が一に備え、社員と地域の住環境をいち早く復旧できるよう、今後は訓練と点検、計画の見直しを重ねていきます。

- P:災害時事業継続計画** 災害発生時の対応フローやBCP組織体制、各種対応手順書と財務計画を整備
- D:教育・訓練** BCPの理解を進める全社教育と運用管理者向けの教育、想定災害の避難訓練を実施
- C:点検** BCP運用チェックリストを用いて年1回点検を実施
- A:是正・見直し** 点検時の不具合事項を中心に是正案を立案し、計画全体の見直しを図る

## 3 刈草のリサイクルで農福連携を支援



社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会、八幡西障害者地域活動センター様圃場での農作業の様子

ゆめ環境では、木くずのリサイクルに加え、道路や遠賀川の清掃整備に伴う刈草も受入れ、リサイクルを行っています。刈草は、破砕機で細かくした後に、堆肥の原料として地元農家の方々に提供しております。

提供先の一つに、社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 八幡西障害者地域活動センター様があります。障がい者の就労支援をも行う育成会様の、施設利用者の方が社会で活躍できるよう幅広い分野から真の自立支援をサポートされている想いに共感し、リサイクル堆肥・ゆめ育土とKingにんにくを提供させていただきました。堆肥は農福連携事業として運営されている圃場で活用いただいております。

当社のリサイクル事業や農業を通じて、多様な地域の皆様との連携からインクルージョン社会形成の一助となるよう、今後も活動を推進していきます。

## 4 海岸漂着物の処理



2018年に新松原海岸に漂着した廃棄物の処理を行いました。当社で処理を実施できるのは木質系の廃棄物のみですが、ペットボトルやポリタンクなどのプラスチックごみが多く混在しており、まず分別作業を行い取り除いた上で処理を行いました。昨年報道されている「海洋プラごみ」の問題を肌で感じた瞬間であり、課題は身近にあることを痛感しました。

地域の美しい景観と水環境の保全に貢献するために、今後も処理を積極的に行います。



## 1 環境マネジメントシステム：エコアクション21の運用



2013年より、エコアクション21(策定：環境省)を用いた環境マネジメントシステムを構築し、環境配慮の取り組みを行っています。当社事業活動にて発生する環境影響を分析した上で計画を策定し、環境配慮活動を推進しています。2016年からはCSR活動の一分野として「環境」を捉えたことも契機となり、全社的な活動に発展しています。

今後は、事業活動との連動をより一層高めることができるよう、活動内容や運営方法の改善に努めていきます。

### エコアクション21 対象範囲(認証・登録範囲)

対象組織：野坂建設株式会社

対象活動：土木工事業、建築工事業、舗装工事業、とび土工事業、水道施設工事業、産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業、土壌改良材生産販売



## 環境方針

### 環境理念

私たちは、自社の付加価値を発揮した事業活動を通じ、ステークホルダーに対して地球環境にやさしい暮らし方の提案を行い、未来のうつくしい地球環境を創造します。

### 行動指針

#### 1 やさしくつくしい住環境を創る

- ・自然共生の住宅等インフラ整備
- ・木質資源の有効活動の研究開発
- ・持続可能な都市(環境)づくりの推進

#### 3 やさしくつくしい繋がりを深める

- ・環境啓発イベントの開催と地域ボランティアへの参画
- ・ステークホルダーへの感謝とさらなる連携強化
- ・自然災害など有事に対する対応の円滑化

#### 2 やさしくつくしい自然を守る

- ・事業活動に必要な水・エネルギー資源の省力化
- ・事業活動に伴い排出される廃棄物抑制
- ・環境配慮型商品の採用

#### 4 やさしくつくしい職場を作る

- ・自らのいきがいとお客様への誇り、家族への感謝をもって仕事できる環境改善と整備
- ・人材教育・キャリア形成と適正な人事考課及び分業の仕組運用
- ・安全第一な職場形成に向けた労働安全衛生教育の強化

令和元年6月1日 野坂建設株式会社 代表取締役 / 野坂 輝和

## 環境関連法規

当社に適用となる環境関連法規は以下の通りです。内部監査にて評価を実施しております。

### 法令

- ・浄化槽法
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・資源の有効な利用の促進に関する法律
- ・特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律

- ・使用済自動車の再資源化等に関する法律
- ・計量法
- ・オフロード法
- ・国等による環境物品の調達等の推進に関する法律
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律

### 条例

- 生活環境保全条例
- 森林環境保全条例

### その他規制

福岡県北九州県土整備事務所

平成30年度の事業活動については、環境関連法規を適正に遵守していることを確認し、違反はありませんでした。また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からのクレームや訴訟も過去3年間はありません。

## 2 CO<sub>2</sub>排出量削減にむけて



事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>を削減するために、エネルギー使用量を削減する取り組みを行っています。

### 社内運用による電気使用量削減

事務所で業務を行う総務部を中心に、社内ルールを活用した電気使用量の削減を推進しています。節電の意識を醸成するために、照明スイッチへの節電掲示と、昼休みは不要な照明を消灯し無駄づかいをなくす活動を継続して行っています。また、月に1度業務改善のためのアイデアを社員で出し合い、それを一定期間実行することで、改善案の検証を行っています。

効果を実感できたものについては、実際に導入し、業務の効率化により残業時間の削減から事務所エネルギーの使用量削減に繋がっています。



### 遮熱塗料の塗布

ゆめ環境事務所の屋根に遮熱塗料「GAINA(関日新産業)」を塗布しました。遮熱塗料は建物の表面や室温の上昇を抑え、節電や建物の傷みを遅らせる効果が期待できます。

夏本番前の2019年4月に施工しました。事務所の電力使用量を観察し、効果の確認と他拠点への展開を考えていきます。



## 3 廃棄物排出量削減・適正処理への取り組み



事務所等から排出される一般廃棄物の削減と、建設現場等から排出される産業廃棄物の適正処理およびリサイクル処理を目指しています。

### 一般廃棄物の分別強化

資源物の古紙類とペットボトル、空き缶の3品目を分別項目として増やしました。専門業者に回収いただき、一般廃棄物の削減とよりリサイクルできる環境を整備しました。また、毎月排出数量管理を実施し、結果を社員で共有することで、排出抑制の意識を変えています。



### 産業廃棄物のリサイクル率向上を目指して

一般廃棄物の分別と同様に産業廃棄物もいかに分別できるかによってリサイクル率が大きく変わってきます。改めて、リサイクルに向けた処理フローの見直しを行い、分別項目を再定義していきます。また、排出実績を定期的に集計・分析していき、よりリサイクルできる廃棄物管理を創りあげていきます。

## 4 グリーン購入の推進



事業活動を行う上で欠かせないものから環境に配慮していくために、文房具類を中心に、グリーン購入適合製品の採用を進めています。備品発注時に代替のグリーン購入適合製品の調査と検討を行い導入を進めており、活動開始から約3年で33品目を採用しました。グリーン購入法適合製品は増加しております。当社でも着実に増加していくよう、目標を定めて推進していきます。

### 現在の採用製品例

- ・蛍光ペン
- ・修正テープ
- ・付箋
- ・封筒
- ・フラットファイル
- ・スティックのり
- ・ネームテープ
- ・シャープペン替え芯
- ・つづりひも
- など

## 1 感謝祭の開催



お客様、協力会社様、地域の皆様、社員のご家族など、野坂建設に関わってくださっている多くの方々との大切なコミュニケーションの場として、毎年「感謝祭」を開催しています。2018年は前年の80名を超える、111名もの皆様にご参加いただきました。

当日は、BBQやビンゴゲーム、大道芸や子ども用アトラクションなど、子どもから大人まで楽しんでいただけるよう様々な催しを行いました。社員全員

で準備から当日の運営まで協力して行ってきたので、皆様と一緒に感謝祭を盛り上げることができたことを本当に嬉しく思います。感謝祭後のアンケートでは、「楽しかった」「また参加したい」といった声や、我々スタッフへの労いのお言葉まで頂き、改めて関係者の皆様との繋がりの有難さを感じました。

今後も、野坂建設に関わってくださる方々のことを第一に考え活動を進めてまいります。



## 2 地域との協働： 第9回“ふくおか”地域の絆応援団セミナーにて事例発表



CSRを通じて、広く地域の皆様と繋がっていくために、様々なステークホルダーとの協働活動を積極的に行っています。

福岡市が展開し、地域活動の活性化を目的とした“ふくおか”地域の絆応援団のセミナーに代表の野坂が登壇しました。「社会価値を生み出すCSRのポイント」というテーマで、当社のCSRの考え方や実際の活動事例を発表し、セミナー後の懇親会では参加者の皆様とたくさんの意見交換ができました。また、Kingにんにくもご賞味いただき、大変好評いただきました。



## 3 地域清掃活動への参画



地域社会の一員として、当社オフィスがある北九州地域と遠賀地域の清掃活動を継続して行っています。周辺道路のごみ拾いと草刈りを行い、集められた刈草は、当社でリサイクルしています。また、地域で開催される清掃活動に当社社員も参加しています。

この活動中に、地域の方にお声がけいただいたり、お話ししながら一緒に活動を行うなど、とても貴重なコミュニケーションの場にもなっています。



## 4 次世代の教育サポート



地域の次世代を担う子どもたちに、当社事業領域の体験を通じて新たな発見や学びに貢献し、繋がることができるよう、様々な形で教育サポートをさせていただきます。

### 環境教育

小学生



水巻町環境課との協働で、猪熊小学校と吉田小学校、伊佐座小学校の3校にて小学4年生向けに環境教育を実施しました。

今回は、地域のごみ問題に目を向けもらうために、海や河川に流れ着くごみについて遠賀川の事例から3Rの重要性を学び分別体験やバックカー車による収集の様子を見学頂きました。また、身近なごみとして食品ロスについて紹介し、ごみ問題がSDGsとも関連していることを伝えました。参加した小学生からは、「ポイ捨てする人がいたら注意する」、「食べ物は好き嫌いせず食べる」など具体的な行動が見える感想文をいただきました。

### 職場体験

中学生



水巻南中学校の生徒3名に職場体験に来て頂きました。当社の農業事業と環境事業の体験をしていただき、農業事業では、Kingにんにくの皮むき作業やトラクターによる圃場の整備を、環境事業では、搬入トラックの誘導やフォークリフト、重機の操作体験を実施いただきました。

後日いただいた感謝状では、仕事の大変さと楽しさも感じていただけたようでした。今後も積極的に職場体験に協力していきたい、将来の職業選びに繋がればと願っています。

## 5 ゆめ環境を機動隊訓練場所に提供



近年世界的にも災害が多発する中、九州でも集中豪雨や大型台風等で大きな被害が出ました。当社では、災害時に命をつなぐ警察の皆さんの活動を応援するため、リサイクル施設の敷地を訓練場所として提供しています。

今年も、福岡県警察第二機動隊第二中隊の皆さんの災害現場等を想定した救出訓練に当社敷地を利用いただきました。



## 1 人材開発プログラムの運営スタート



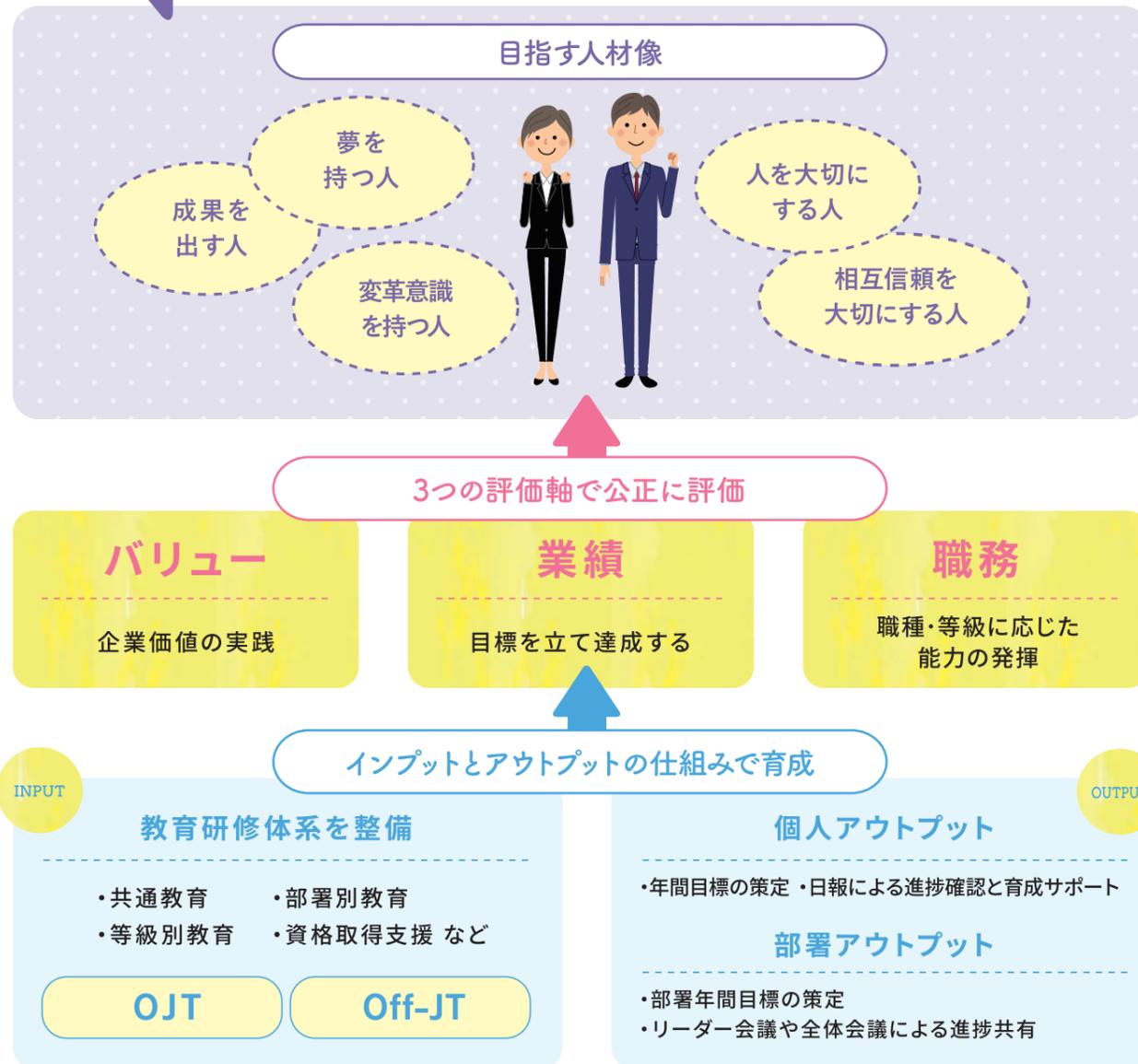
社員が自らの人生設計をこの会社で描き実現していけるよう、人材育成プログラムを2018年に構築しました。

人事ポリシーを基に人事評価制度と教育体系を整理したこのプログラムは、46期より運用を開始し、全社員共通の社内教養強会での教育と、等級や所属部署に合った外部研修等への参加を通じた教育を行いました。また、教育でインプットした内容を日々の業務や部門マネジメントで

アウトプットすることをサポートするために、新しい日報制度を導入して、進捗管理できる体制も整備しています。

社員の成長が組織力の向上に繋がっていきます。47期は、スタート時に個人の年間目標を定めることができました。目標に対する結果に向き合い、共に継続して成長していける組織になれるよう、運用定着に向けて邁進していきます。

人事ポリシー 野坂建設株式会社は明朗に働く人を大切にします。



## 2 業務効率化に向けて



当社の働き方改革は、ワークライフバランスをより良いものに改善し、多様な人が働き将来の展望が持てるようにすることだと考えています。そのためには、業務効率を上げることで生産性を向上させることが重要です。今期は事務部門の業務を見直し、改善に向けたシステム導入を図ります。

### 実施計画

- 廃棄物管理システムと会計システム間のデータ連携  
⇒ 同じ情報の入力及び確認の手間を削減
- 目標進捗管理と日報の電子化 ⇒ 報告・連絡・相談のスピード向上
- 社内SNSの導入 ⇒ 社内コミュニケーションを活性化



## 3 安全衛生の取り組み



住宅の施工作業や廃棄物処理作業は危険と隣り合わせです。2019年は安全衛生への取り組みを見直して強化していきます。日々の活動としては、始業前のKY(危険予知)を行い、その日の作業に応じた危険を事前に確認・共有した上で作業に入ります。また、定期的に現場の安全パトロールを行い、様々な人の目で安全が確保されているかを確認し全員で安全への意識向上を図っていきます。2019年に策定したBCP(P14参照)の実行にも、日常的に安全衛生の確保が必要です。社員一丸となって安全な職場環境づくりに取り組んで参ります。



# マテリアルバランス

## INPUT

### ■エネルギー

電気	22,842kWh
ガソリン	7,762ℓ
軽油	57,667ℓ
水	800m <sup>3</sup>

### ■建設資材

アスファルト	21.13t
再生粒調砕石	0.9t
木材	12.26t

### ■受入廃棄物

産業廃棄物	776.7t
一般廃棄物	5584.5t

建設事業

環境事業

地域事業



## OUTPUT

### ■CO<sub>2</sub>排出量

174.86 t-CO<sub>2</sub>

### ■一般廃棄物排出量

143kg

### ■住宅関連施工件数

128件

### ■建設廃棄物

廃プラスチック類	16.93t
木くず	11.80t
金属くず	0.11t
紙くず	5.37t
がれき類	21.13t
ガラスくず等	0.90t
廃石膏ボード	3.66t
混合廃棄物	1.04t

### ■中間処理後廃棄物

発電燃料として再生	2773.64t
堆肥へ再生	3618.45t
リサイクル率 <sup>※2</sup>	100%
リサイクル率 <sup>※2</sup>	84%

### ■製品製造数

Kingにんにく	2.7t
Kingにんにく・くろ	1,800/バック

※1: INPUT[エネルギー]使用におけるCO<sub>2</sub>排出量を算定。(使用排出係数: 電気(本社、ゆめ環境、水巻支店/計20,508kWh)-0.000337t-CO<sub>2</sub>/kWh、電気(現場/計2,334kWh)-0.000496t-CO<sub>2</sub>/kWh、ガソリン-2.32t-CO<sub>2</sub>/kℓ、軽油-2.58t-CO<sub>2</sub>/kℓ) ※2: リサイクル率=サーマルリサイクル量+マテリアルリサイクル量/総排出量

# 沿革

HISTORY of COMPANY

- 1971年 7月 ----- 野坂建設設立
- 1972年 4月 ----- 野坂建設有限会社へ資本金100万円にて組織変更、野坂作次就任
- 1985年 3月 ----- 代表取締役 野坂時夫就任
- 1990年 3月 ----- 野坂建設株式会社へ組織変更、資本金3,000万円に増資
- 1999年 2月 ----- 資本金4,000万円に増資
- 2002年 12月 ----- リサイクルセンター「ゆめ環境」設置
- 2005年 9月 ----- 国土交通省 平成17年度 地域における中小・中堅建設業の新分野進出促進モデル構築支援事業選定
- 2006年 1月 ----- 岩国バイオマス発電所に発電用燃料としてチップを納品
- 2006年 5月 ----- 『ゆめ育土』福岡県リサイクル製品として認定
- 2007年 8月 ----- 代表取締役 野坂輝和就任
- 2008年 10月 ----- 3R推進協議会 平成20年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰  
「河川敷等の維持管理で発生する刈草のマテリアルリサイクル」で会長賞受賞
- 2013年 3月 ----- エコアクション21認証登録
- 2014年 6月 ----- 本社を移転  
住宅事業部『夢空間』開始
- 2014年 10月 ----- 3R推進協議会 平成26年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰  
「地域で発生する木くずリサイクルの実施」で会長賞受賞
- 2015年 10月 ----- 優良性評価制度基準適合(福岡県・処分業)
- 2016年 8月 ----- ゆめ環境 事務所リニューアル
- 2017年 1月 ----- モデルハウスオープン(水巻町緑ヶ丘)
- 2017年 3月 ----- エコアクション21 対象範囲拡大で認証取得(水巻支店追加)
- 2017年 4月 ----- 宅地建物取引業開始
- 2018年 7月 ----- Kingにんにく JASオーガニック認証取得
- 2018年 11月 ----- 発電利用に供する木質バイオマスの証明に関わる事業者認定 取得
- 2019年 3月 ----- 中間市、遠賀郡4町と遠賀・中間地域広域行政事務組合とで災害廃棄物の処理に関する協定締結
- 2019年 6月 ----- Kingにんにく・くろ JASオーガニック認証取得